



新元号は「令和」 万葉集にふれあおう！

問 商工観光課 (☎ 82・2457 / IP ☎ 88・9081)



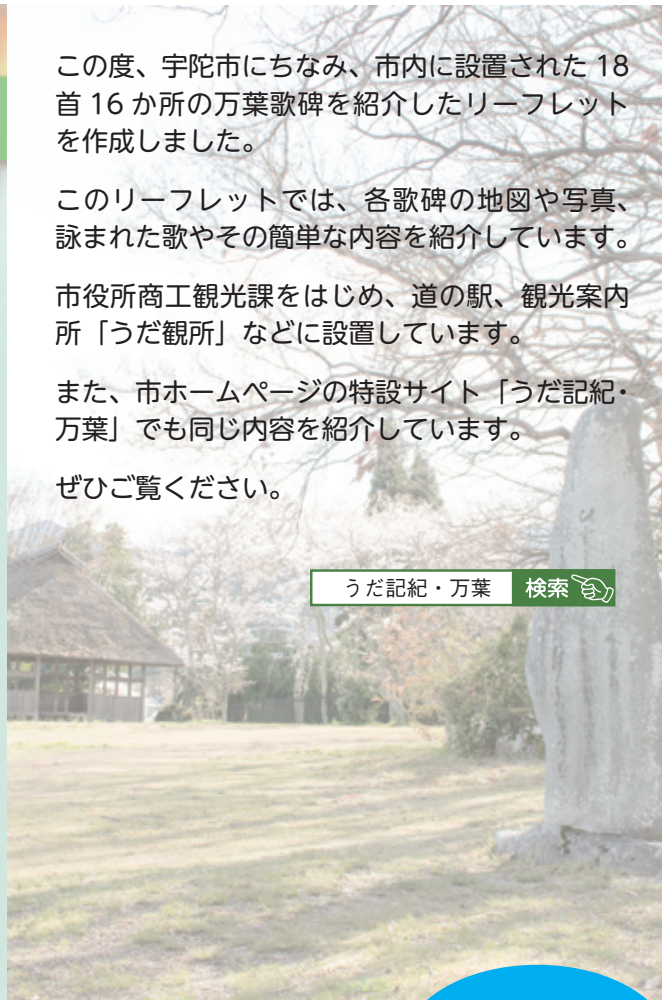
この度、宇陀市にちなみ、市内に設置された 18 首 16 か所の万葉歌碑を紹介したリーフレットを作成しました。

このリーフレットでは、各歌碑の地図や写真、詠まれた歌やその簡単な内容を紹介しています。

市役所商工観光課をはじめ、道の駅、観光案内所「うだ観所」などに設置しています。

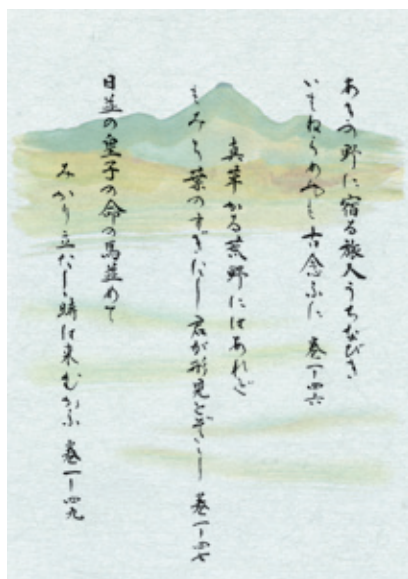
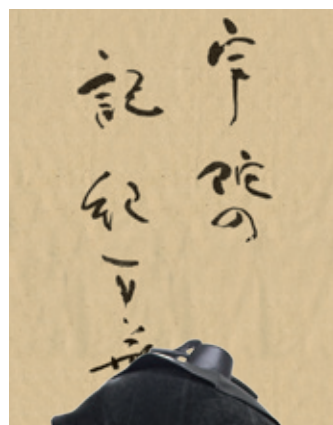
また、市ホームページの特設サイト「うだ記紀・万葉」でも同じ内容を紹介しています。

ぜひご覧ください。



うだ記紀・万葉 検索

それぞれの歌碑はこんな感じで紹介されているよ！



▲冊子「宇陀の記紀万葉」
(宇陀市観光連盟発行)
1冊 200円 商工観光課
観光案内所で販売中



勝負服を着た
「天平やっぴー」も
ヨロシク♪



大宇陀迫間
かぎろひの丘
(巻 1-45) (巻 1-48)

わが大君(草壁皇子)の皇子である軽皇子は、神にふさわしくふるまわれるとて、都をあとにして、泊瀬の山は真木の茂り立つ荒々しい山道を、岩さえぎる木々を押し伏せ、坂鳥のように朝お越えになって、夕方になると、み雪降る安騎の大野に、旗のように靡くすすきや小竹を押し伏せて。旅寝をなさる。いにしえをを偲んで(柿本人麻呂)

やすみしし 我が大君 高照らす 日の御
子 神ながら 神さびせすと 太敷かす
都を置きて こもりくの 泊瀬の山は 真
木立つ 荒山道を 岩が根 禁樹押しなべ
坂鳥の 朝越えまして 玉かぎる 夕さき
来れば み雪降る 安騎の大野に 旗すす
き 小竹を押しなべ 草枕 旅宿りせす
古思ひて